

1 施設概要

施設名	高知市総合運動場		施設所管課	スポーツ振興課				
指定管理者名	公益財団法人高知市スポーツ振興事業団							
指定期間	平成 27 年 4 月 1 日 ~ 平成 30 年 3 月 31 日		公募・指名の別	指名				
設置目的	高知市の体育施設の一元的な管理運営と生涯スポーツの普及・振興を図る市民の健全なスポーツ、レクリエーション及び健康増進に寄与するため							
業務内容	1. スポーツ施設の管理運営全般(施設利用許可含む) 2. 施設使用料の徴収事務 3. スポーツ振興に関する自主事業実施 4. 学校体育施設開放事業に関すること(利用券販売・利用申込み受付)							
施設内容	・野球場 ・補助グラウンド ・多目的ドーム ・テニスコート(7面) ・相撲場 ・陸上競技場 ・スケートボード場 ・総合体育館(温水プール, 雨天練習場, メインアリーナ, サブアリーナ, プレイルーム, トレーニング室, ランニング走路, 会議室, シャワー室)							
職員体制	常勤職員	18人	非常勤職員	1人	契約社員	0人	合計	19人
	パート職員	0人	アルバイト	0人	その他	0人		

2 目標値と達成状況(指定管理者記入欄)

指標	平成 27 年度 (1 年目)		平成 28 年度 (2 年目)		平成 29 年度 (3 年目)	
	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績
事業参加者満足度(点)	3.70	3.76	3.70	3.63	3.70	3.62
施設利用者満足度(点)	3.50	3.45	3.55	3.61	3.60	3.53
事業参加者数(人)	1,550	1,902	1,700	1,995	1,850	2,518
施設利用者数(人)	487,000	451,027	490,100	419,945	493,200	453,530
施設利用率(パーセント)	25.00 %	55.47 %	25.50 %	49.54 %	26.00 %	51.75 %
施設使用料収支率(パーセント)	23.00 %	27.14 %	23.50 %	25.84 %	24.00 %	25.01 %
目標値に対する達成状況について			事業参加者満足度:アンケートによるもの。「教室PR」,「開催曜日・時間帯」が要因と考えられる。 施設利用者満足度:「看板・利用案内」の評価が低く課題と考えられる。 事業参加者数:27年度から5事業増加のため。 施設利用者数:天井工事による休業の影響による。		事業参加者満足度:アンケートによるもの。「教室PR」,「申込の容易さ」改善のため,テレビ広報などを実施した。 施設利用者満足度:デジタルサイネージ設置運用等により「看板・利用案内」改善。 事業参加者数:28年度から3事業増加のため。 施設利用者数:28年度天井工事休業からの回復期。	

3 利用状況(指定管理者記入欄)

	平成 27 年度 (1 年目)	平成 28 年度 (2 年目)	平成 29 年度 (3 年目)	
利用者数	451,027 人	419,945 人	453,530 人	
利用者数:対前年度比	88.8 %	93.1 %	108.0 %	
開館日数	359 日	359 日	359 日	
利用率	野球場	51.52 %	45.26 %	42.87 %
	補助グラウンド	40.51 %	33.60 %	35.26 %
	多目的ドーム	71.36 %	64.80 %	60.06 %
	テニスコート	60.61 %	60.46 %	59.33 %
	相撲場	4.80 %	5.33 %	2.51 %
	体育館主競技場	78.62 %	62.17 %	71.57 %
	体育館補助競技場	80.99 %	65.13 %	77.07 %
	雨天練習場	34.50 %	27.58 %	30.95 %
	プレイルーム	67.72 %	60.90 %	64.78 %
	会議室	20.26 %	20.32 %	21.29 %
利用状況についての評価		利用者数としては、対前年度比93.1%となっているが、プール・体育館の吊天井耐震補強工事による休館期間があったことや、陸上競技場利用者数に引率者を含めないように変更したことが要因である。集計方法の変更がなければ比率は103.7%であり順調である。	利用者数は、対前年度比108.0%となっている。27年度・28年度天井耐震補強工事休業から回復。利用率についても工事休業から回復してきており、利用者数・利用率ともに順調である。	

※ 利用率の算定方法: 利用率=使用数÷使用可能数

仮にテニスコートの場合、実際の使用数(各コートごとの使用時間)を使用可能数(コート面数×1日の使用可能時間×日数)で除した数が利用率となる。

4 収支状況(指定管理者記入欄)

単位:千円

	平成 27 年度 (1 年目)	平成 28 年度 (2 年目)	平成 29 年度 (3 年目)	
収入	指定管理料	315,570	308,558	334,204
	利用料金収入	0	0	0
	自主事業収入	996	930	1,276
	その他収入	292	255	55
	収入計	316,858	309,743	335,535
支出	人件費	38,623	48,972	50,907
	光熱水費	108,948	86,273	101,048
	保険料	1,237	1,187	1,224
	委託料	135,733	137,469	143,086
	修繕費	14,124	11,367	10,392
	事業費	14,816	20,298	24,244
	消費税及び地方消費税	3,007	3,780	4,240
	その他の公課費	214	261	191
	事業所税	0	0	0
	その他	156	136	203
支出計	316,858	309,743	335,535	
差引収支 (収入計-支出計)	0	0	0	

※ 施設使用料等収入については、高知市の収入とし、利用料金制度は導入していない。

※ その他の収入のうち12千円は、コピー料収入から充当。

5 運営状況分析指標(指定管理者記入欄)

	平成 27 年度 (1 年目)	平成 28 年度 (2 年目)	平成 29 年度 (3 年目)
① 利用料金比率	0.0 %	0.0 %	0.0 %
② 指定管理料比率	99.6 %	99.6 %	99.6 %
③ 人件費比率	12.2 %	15.8 %	15.2 %
④ 利用者1人当たりの管理コスト	703 円	738 円	740 円
⑤ 利用者1人当たりの高知市負担コスト	700 円	735 円	737 円
⑥ 外部委託費比率	43.0 %	44.5 %	42.6 %

※【運営状況分析指標の考え方】

指 標	指 標 の 説 明
① 利用料金比率	収入の総額に対して利用料金収入の占める割合を表す。
② 指定管理料比率	収入の総額に対して指定管理料の占める割合を表す。
③ 人件費比率	支出の総額に対して人件費の占める割合を表す。
④ 利用者1人当たりの管理コスト	支出の総額を延べ利用者数で割った金額を表す。
⑤ 利用者1人当たりの高知市負担コスト	指定管理料を延べ利用者数で割った金額を表す。
⑥ 外部委託費比率	支出の総額に対して外部委託費の占める割合を表す。

6 利用者の満足度調査等(指定管理者記入欄)

	平成 27 年度 (1 年目)	平成 28 年度 (2 年目)	平成 29 年度 (3 年目)
調査の実施内容	① 調査方法	-	アンケート方式(①施設利用者対象・②登録団体対象・③競技団体対象)
	② 調査期間	-	①通年, ②28年6~9月, ③29年1~2月
	③ 配布数	-	①62部, ②291部, ③79部
	④ 回収数	-	①62部, ②170部, ③7部
	⑤ 回収率	-	①100%, ②58%, ③9%
調査結果	-	5満点で実施した。①~③いずれも3点(満足)以上の評価を得た。特に①において「施設」、「設備・備品」、「スタッフ」は連年評価を上げている。	5満点で実施した。①②いずれも3点(満足)以上の評価を得た。特に①において前年からの課題だった「看板・利用案内」で評価を上げている。

7 利用者からの苦情・意見等及びそれらへの対応(指定管理者記入欄)

日付	苦情・意見等	対応状況
平成29年6月19日	トレーニングマシンを拭く布巾が無くてマシンがふけない。	器具拭き用タオルを置いているが補充が不十分だったため頻度を上げて対応。
平成29年7月31日	プールの端で話している人をよくみかけるが邪魔になるので上がって話すよう注意してほしい。	コース端は短時間であれば休息や通常利用の範囲としているが長時間になるようであれば声かけを実施している。
平成29年9月24日	体育館トイレを洋式にするべき。	体育館各階の男女トイレ及び車椅子用トイレに1つずつ洋式便器あり。

8 評価シート(自己評価・一次評価・総合評価)

(1) 業務の履行状況の確認

評価項目(小項目)	確認内容	自己評価	一次評価	総合評価
		指定管理者	施設所管課	指定管理者業務評価委員会
1 開館時間等	条例に基づき、開館時間・休館日は遵守されているか	3	3	3.0
2 法令等遵守	地方自治法、施設に係る条例その他関係法令等は遵守されているか	3	3	3.0
3 職員配置	適切な人員配置がされたか	3	3	3.0
4 職員研修	管理運営のために必要な研修等が適切に行われたか	3	3	3.0
5 使用許可業務	条例に基づき、適正な申請受付業務・使用許可業務が行われたか	3	3	3.0
6 施設の平等利用の確保	施設利用申請等に対する平等の確保策はとられているか	3	3	3.0
7 使用料	使用料の徴収・減免等の手続は適切に行われているか	3	3	3.0
8 保守点検業務・警備業務	保守点検業務・警備業務は適切に行われたか	3	3	3.0
9 清掃・維持管理業務	清掃、維持管理業務は適切に行われたか	3	3	3.0
10 廃棄物処理業務	廃棄物処理業務は適切に行われたか	3	3	3.0
11 修繕業務	修繕業務は適切に行われたか	3	3	3.0
12 事業の実施状況	条例、事業計画書等に基づき、事業を実施しているか	3	3	3.0
13 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準か	3	3	3.0
14 利用促進の取組	利用者増加のための対策は適切に行われたか	3	3	3.0
15 施設賠償責任保険の加入	施設賠償責任保険に加入しているか	3	3	3.0
16 利用者の安全確保対策	事故時の対応体制(マニュアル作成、訓練等)が確立されているか	3	3	3.0
17 緊急時対応	緊急時・防災時の対応体制(マニュアル作成、訓練等)が確立されているか	3	3	3.0
18 個人情報保護に関すること	個人情報保護に関する対策は適切か	3	3	3.0
19 情報公開に関すること	情報公開に関する対応は適切か	3	3	3.0
20 備品購入・管理の状況	備品の購入手続・管理体制は適切に行われたか	3	3	3.0
配点60点(20項目×3点)		小計	60	60

評価基準

点数	小項目の評価基準
3	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営がなされ、適正であると認められる。
2	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営に達しておらず、簡易な改善や一部目標の見直しを要する。
1	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営がほとんどなされておらず、早急な改善が必要である。
0	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営が全くなされておらず、抜本的な改善が必要である。

(2) サービスの質の確認

評価項目(小項目)	確認内容	自己評価	一次評価	総合評価
		指定管理者	施設所管課	指定管理者業務評価委員会
1 利用者ニーズの把握	利用者ニーズを把握するとともに、利用者ニーズを事業の計画及び実施に反映できているか	4	4	3.0
2 接客態度・苦情要望等への対応	接客態度、苦情・要望等への対応等は適切か	4	3	3.0
3 施設内の案内表示	施設内の案内表示は見やすくなっているか	4	4	4.0
4 利用案内	施設情報・事業実施情報等は容易に入手できるようになっているか パンフレット・利用案内等は分かりやすくなっているか	4	3	3.0
5 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理は適切か	4	4	4.0
6 施設運営業務	実施された事業内容は適切に行われているか	4	4	4.0
7 事業の実施状況	事業は効果的に行われたか	4	4	4.0
8 自主事業の実施状況	施設目的に沿った自主事業が実施されたか	5	4	4.0
9 目標達成度	施設目的・課題に沿った目標を設定し、目標達成に向けた取組はなされたか	3	3	3.0
配点45点(9項目×5点)		小計	36	33

評価基準

点数	小項目の評価基準
5	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準以上の運営がなされ、非常に優れていると認められる。
4	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準以上の運営がなされ、優れていると認められる。
3	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営がなされ、適正であると認められる。
2	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営に達しておらず、簡易な改善や一部目標の見直しを要する。
1	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営がほとんどなされておらず、早急な改善や目標の見直しが必要である。
0	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営が全くなされておらず、抜本的な改善が必要である。

(3) サービス提供の継続性と安定性

評価項目(小項目)	確認内容	自己評価	一次評価	総合評価	
		指定管理者	施設所管課	指定管理者業務評価委員会	
1 経費節減・効率的な運営	経費節減及び効率的な管理運営のための工夫が見られるか	3	3	3.0	
2 事業収支	事業収支は妥当か	3	3	3.0	
3 経営状況	指定管理者の経営状況は妥当か	3	3	3.0	
4 人件費比率	支出に占める人件費の割合は妥当か	3	3	3.0	
5 外部委託費比率	支出に占める外部委託費の割合は妥当か	3	3	3.0	
配点15点(5項目×3点)		小計	15	15	15.0

評価基準

点数	小項目の評価基準
3	事業計画・収支計画等に基づく経営がなされている。
2	概ね事業計画・収支計画等に基づく経営がなされているが、簡易な改善や一部業務の見直しを要する。
1	事業計画・収支計画等に基づく経営がほとんどなされておらず、早急な改善が必要であり、業務の全面的な見直しが必要である。
0	事業計画・収支計画等に基づく経営が全くなされておらず、抜本的に業務の全面的な見直しが必要である。

9 自己評価・一次評価結果

(1) 評価結果

評価分類	配点	自己評価 (指定管理者)	配点に対する割合	一次評価 (施設所管課)	配点に対する割合
(1) 業務の履行状況の確認	60 点	60 点	100 %	60 点	100 %
(2) サービスの質の確認	45 点	36 点	80 %	33 点	73 %
(3) サービス提供の継続性と安定性	15 点	15 点	100 %	15 点	100 %
合計	120 点	111 点	93 %	108 点	90 %

(2) 自己評価(指定管理者評価)の内容

年度	評価内容
27	<p>協定書・事業計画書他に定める管理運営は概ね実施できている。</p> <p>スポーツ振興事業について、平成27年度指定管理者自主事業は平成25年度、平成26年度より大幅に増加している。スポーツ教室参加者アンケートでも「満足」以上が99%(「大いに満足」が68%、「満足」が31%)と大変高評価をいただいた。</p> <p>施設管理については、プール吊天井耐震工事に向けての休業及び再開、施設長寿命化計画への協力等を実施した。また、陸上競技場公認に係る修繕、野球場スコアボード延長バックスクリーン塗装及び陸上競技場第一電気室高圧進相用コンデンサ取替修繕など、施設の運営に支障を来さないよう指定管理料から支出し、実施した。</p> <p>その他、早起き野球申込受付、よさこい野球申込受付など、地域体育施設のシンボリック施設の役割を果たし、地域スポーツ団体に協力した。</p>
28	<p>協定書・仕様書・事業計画書等に定める水準の管理運営は実施できた。</p> <p>事業開催数及び事業参加者数はともに増加し事業参加者満足度も向上した。</p> <p>安全・安心施設への取組としてAED増設(2台から11台へと9台増設)や大型公用車へのバックカメラ設置などを行った。</p> <p>災害予防及び対策として新たに2名の職員が防災管理者の資格を取得し管理職員の資質向上を図った。また、災害時には保温シートとしても使用できる卓球用防球フェンスの購入を行った。</p> <p>バリアフリーへの取組としてあったかパーキングのシンボル等の更新を行った。</p> <p>新たな取り組みとして多目的ドーム利用時間拡大事業を実施した。</p>
29	<p>協定書・仕様書・事業計画書等に定める水準の管理運営は実施できた。</p> <p>事業開催数及び事業参加者数はさらに増加し事業参加者満足度も高い満足度を維持できた。また、新たに受付前に設置したデジタルサイネージを活用した教室PRの実施やテレビ広報の実施など事業PR策を実施した。</p> <p>利用者満足度向上策として、前年度の課題であった「看板・利用案内」の充実のため、陸上競技場前案内図の多言語化を含めた更新、施設案内用ホワイトボード設置及びデジタルサイネージ設置運用などを実施した。</p> <p>総合体育館受付に歳時記に合わせた飾り付けを実施。利用者とのコミュニケーションが広がるなど愛着を深めていただくきっかけとなった。</p> <p>防犯対策として、体育館内コンセントにカバーを取り付け盗電対策を実施した。</p> <p>職員研修として、プール衛生管理者、スポーツ用器具アドバイザー、水泳指導管理士、防火・防災管理者、自衛消防業務講習修了者、スポーツターフ管理者、木製床管理者等の各種資格を取得。また、既にプール衛生管理者を保有しているものについての継続更新及び体育施設管理士から上級体育施設管理士へのステップアップなど資格更新をした。さらに、スポーツ施策推進協議会に出席し、全国のスポーツ施設を管理する外郭団体と情報交流を図った。</p>

(3) 一次評価(施設所管課評価)の内容

年度	評価内容
27	<p>室内プール吊天井耐震工事(11月～2月末)予定に伴う休業のため、平成26年度より総利用者数が減少しているが、多目的ドームの施設利用者は増加傾向にある。</p> <p>自主事業については、積極的に開催数を増やしており、親子で参加できる教室(子育て世代支援)やプロスポーツ選手招待サッカー教室を開催するなど、利用者ニーズや高知市スポーツ推進計画を反映した新たな内容の教室開催にも努め、また、利用者から高い評価を得ている。</p> <p>施設維持管理については、室内プール休業を周知し、休業中には、普段できない備品整備や清掃等を行ったほか、市との協議により緊急な修繕を実施するなどサービス向上に努めた。また、同工事の入札不調により早急なプール再開に向けて、監視員の手配等、迅速な対応に努めた。</p> <p>今後は、委託業者への指導も含めた職員研修等により、更なるサービスの向上に努めていただきたい。</p>
28	<p>協定書・仕様書・事業計画書等に定める水準の管理運営は実施できた。自主事業の各種教室については、事業数を増やし参加者が増え利用促進が図れた。</p> <p>プール及び体育館の吊天井耐震補強工事による休館があったが、休館中に壁塗装等修繕を行ったり、プールへの脱水機設置等、市民の要望に対応できた。</p>
29	<p>平成27・28年度の工事に伴う休館から利用者数は回復している。自主事業については、要望の多いヨガ教室の増加や水中ウォーキングの夜間開催など、より細かな調整を行い、事業数や参加者数の増加を図った。また施設管理においては、防災対策に伴う修繕や28年度課題であった「看板・利用案内」に関して、場内案内図更新、デジタルサイネージの設置等を実施し、市民サービスの向上に努めた。</p>

10 総合評価結果

(1) 評価結果

評価分類	配点	評価 (指定管理者業務評価委員会) 合計	配点に対する割合	評価
(1) 業務の履行状況の確認	60 点	60.0 点	100 %	S
(2) サービスの質の確認	45 点	32.0 点	71 %	
(3) サービス提供の継続性と安定性	15 点	15.0 点	100 %	
合計	120 点	107.0 点	89 %	

評価基準

区分	S	A	B	C
評価基準	評価点数の合計値が配点合計点数の85%以上、かつ、全ての小項目で3点以上の評価であるもの	・評価点数の合計値が配点合計点数の65%以上85%未満 ・評価点数の合計値が配点合計点数の85%以上、かつ、小項目で2点以下の評価があるもの	評価点数の合計値が配点合計点数の45%以上65%未満	評価点数の合計値が配点合計点数の45%未満
評価内容	・事業計画書・仕様書を上回る取組がなされ、非常に優れた実績をあげている。 ・適正に管理運営が行われており、またはそれ以上の取組がなされ、優れた実績をあげている。	事業計画書・仕様書に沿って適正に管理運営が行われている。	概ね事業計画書・仕様書に沿った適正に管理運営が行われているが、管理運営の一部に改善を要する。	事業計画書・仕様書に沿った管理運営が行われていない事項があり、管理運営の大部分において改善を要する。

(2) 総評

適正な管理運営がなされていると考えます。実施している事業についても、目標より多くの参加者を集めている点は評価できます。今後もより利用しやすい施設運営を期待します。

(3) 総合評価実績

年度	評価結果	総合評価点数	総 評
27	S	— 点	自主事業の充実が図られるなど、適正な管理運営がなされていると考えます。引き続き、利用者ニーズの把握を行い、市民サービスの更なる向上に努めていただくようお願いします。
28	S	106.0 点	適正な管理運営ができていると考えます。実施されている自主事業についても、利用者アンケート結果において高い満足度を得ていることから、継続した取組を期待します。
29	S	107.0 点	適正な管理運営がなされていると考えます。実施している事業についても、目標より多くの参加者を集めている点は評価できます。今後もより利用しやすい施設運営を期待します。

11 指定管理業務における課題・改善事項及びそれらへの対応(指定管理者記入欄)

課題・改善事項	改善時期	改善に向けた対応
総合運動場全体の施設寿命化	平成28年～平成37年度	全体的に劣化。長寿命計画対応。
総合運動場全体の用器具経年劣化	平成30年度～	29年度にソフトバレー審判台更新等実施。今後も状態等に応じて適宜補充又は更新。
野球場スタンド雨漏り	平成30年度～	29年度に部分修繕を実施したが全体更新が必要なため工事要望継続。
テニスコート遮光対策	平成30年度～	遮光ネット購入したが外壁工事に伴い体育館遮光で使用したため29年度に施工できず。30年度以降に再度遮光ネットの購入施工を計画。
多目的ドーム人工芝不陸及びライン歪み	平成30年度～	公共建築課に相談済み。地盤の問題があるとみられる。外周部分の不陸については足元つまづき注意標示塗装施工済み。
相撲場利用減	平成30年度～	29年度に相撲関係者への聞き取り調査を実施済み。高知工業高校相撲場が無料で使用できるため高知市相撲場はエアコンの必要な夏季のみ使用希望。工業高校にエアコンがつけば利用ゼロの可能性も。相撲以外での利用を検討する。
総合体育館熱中症対策	平成30年度～	換気、扇風機設置を継続。夏季に窓を閉めて開催される大会の主権者に対し定期的に換気の時間を設けてもらう声がけも継続。年間利用調整会議では「四国大会以上は空調設備必須」という競技団体も複数あり。空調設備設置工事要望を継続。
総合体育館室内プール基準点埋没	平成30年度～	29年度に基準点表面舗装ケレン実施。基準点が露出したが表面の刻印等はなし。日本水泳連盟公認測量者への確認が必要。
総合体育館東側駐車場駐車区画線劣化	平成30年度～	29年度は外壁工事の為東側駐車場が現場事務所兼資材置き場となり施工できず。今後利用状況をみて施工を計画。
総合体育館雨天練習場土埃対策	平成30年度～	黒土部分の段階的な人工芝化を計画。
陸上競技場外周通路傾斜	平成30年度～	エキスパンション開き具合の定点観測を実施。傾斜具合に変化なし。今後も傾斜対策の研究を継続。
災害備蓄品、災害用品の不足	平成30年度～	29年度に防災用ヘルメットの購入済み。30年度より地域防災推進課による避難所運営マニュアル策定に協力する予定。避難所に必要な物品の購入を同課で計画。その他物品についても継続して計画的に準備。